

毒性歯科金属の除去と噛み合わせ治療でアンチエイジングを目指す。

歯と体の健康は密接につながっている。それぞれの診療が連携することでより適切な治療ができるため、厚生労働省も「医科歯科連携」を推進しているが、こちらでは内科を併設してすでに密接な連携を実践。大きな成果を挙げている。

「肩コリや頭痛、慢性疲労、アレルギー、電磁波障害、自律神経系の障害など全身のトラブルを抱えた患者さんが多数来院されますが、当院の歯科治療で症状が完治、改善される方がたくさんいます」と中垣院長。

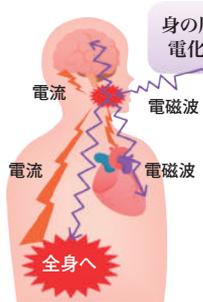
歯に関係ない症状ばかりに見えるが、どのような仕組みなのだろうか。

「本来、人間が生まれたときには口腔内に存在しなかった3つの毒が原因です。意外な盲点となっているこれらがさまざまな症状を引き起こし、



中垣直毅さん 院長・歯学博士

なかがき・なおき ●日本歯周病学会認定医・歯周病専門医、日本顎咬合学会認定咬み合わせ認定医。大阪歯科大学歯周病学講座講師やアメリカのインディアナ大学歯周病科客員講師も務める。



老化に拍車をかけます。具体的には、金属や樹脂などの『歯科材料』と虫歯菌や歯周病菌などの『悪玉細菌』、歯磨き剤やうがい薬などによる『経皮毒』です。歯磨き剤などに含まれる合成界面活性剤は、孫の代まで影響をおよぼすと言われています」

特に歯科材料に使われる金属は、唾液により溶解して金属イオンが溶出。臓器に沈着して機能障害やアレルギーを起こすほか、歯科金属によって発生する口腔内電流は、自律神経系にトラブルを起こすという。「実は、身の回りの家電や携帯電話

が発する電波や電磁波も要注意です。歯科金属がアンテナとなって集積するため、電磁波障害を引き起こします。この症状に苦しむ患者さんは非常に増えていきます」と警告する。

とはいえ、電磁波環境を変えるのは難しい。そこで中垣院長は、アンテナとなっている歯科金属を除去し、セラミックやジルコニアなどのノン金属材料に置き換える治療を実践している。除去の際には特別な安全対策をとっているので安心できる。

「特に、成分の約50%が水銀であるアマルガムという歯科金属は、切削ドリルの摩擦熱で発生する水銀蒸気を吸い込むと非常に危険なので、細心の注意を払っています。また、欠損歯への対策としては、まったく金属を使わない100%ジルコニア製インプラント治療を行っています」

さらに、治療の際には噛み合わせの改善に配慮している点にも注目。「噛み合わせは、たった数ミクロンの狂いでも体に大きな影響を与え、ゆがみを引き起こす原因となります」と話す中垣院長は、世界トップレベルのスポーツトレーナーとして知られる白石宏さんの依頼を受け、オリンピック選手などアスリートの治療も担当している。失われた本来の美しさと健康を取り戻し、真のアンチエイジングを実現したい人は、ぜひ一度相談してみたいかがだろうか。



歯科金属の除去後、生体親和性と審美性に優れたセラミック、ジルコニアなどに置き換えることで症状も審美性も改善。

[DATA]
中垣歯科医院
☎ 06-6841-8217



大阪府豊中市中桜塚
4-7-4
診9:00~13:00、
15:00~19:00、
土9:00~12:00、
13:00~17:00
木日祝休
<http://www.metal-allergy.jp>

建物にも電磁波・アマルガム対策を施している。



歯科金属の3つの害（溶解・電流・電磁波）を測定する機器（①~④）。①手のひらをスキャンするだけで体内に蓄積した有害金属や必要な必須ミネラルの情報が分析できる測定器。②電磁波の影響を診断し波動調整できる機器。③④口腔内電流測定器（放電機能付き）。放電させることで症状が改善すれば、口腔内電流が原因だと診断可能。⑤塩素の7倍の殺菌力を持つオゾンガスで、虫歯菌や歯周病菌を99%殺菌できる機器。⑥オゾンガスで虫歯菌や歯周病菌のみを選択的に除菌し口内フローラを改善させる機器。